

---

I LOVE . . .

愛夢

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

I LOVE・・・

### 【コード】

N1382V

### 【作者名】

愛夢

### 【あらすじ】

幼なじみの栞と翔太の1日の物語、設定は3月です。

谷 栞は普通の女の子だった。

「栞！」

「ん〜？」

可愛らしい声・・・まさに女の子って感じ  
ひそひそ声で栞と栞の友達の未央がしゃべりだした。

「まーた、大宮くん栞を見てるよ？」

「翔太が？」

俺と栞は幼なじみだから名前で呼ぶし、ずっとしゃべっても文句は言われない。まあ女子には「栞と大宮くんって付き合ってるの？」って言われることが多いけどね。

「栞って幼なじみの翔太をどう思ってるの？」

「いきなりだね。未央は・・・」

「で？どうなの？」

「」

盗み聞きしてはいないけどその話の続きが聞きたかった。

「おい！翔太！聞くけど、お前・・・谷が好きなの？」

「え？」

今は答えられないな・・・

「翔太〜」

「よ！」

今日は雪が降っていた。もう3月なのに・・・

「今日は寒いね？翔太は寒くないの？」

「だいたいこう言つと「私は寒い」と言っている。

「ほら」

「そう言つて、俺のマフラーをアイツに渡す

「翔太・・・ありがとう」

「俺・・・栞が好きだから。栞は？」

「・・・好きだよ？」

俺らは1つのマフラーを2人で巻いてキスをした。

栞の口は冷たかった。でも、すごい気持ちよかった。

栞、愛してる。今後一生、ずっと一緒だ。

「I love you・・・」

f i n

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1382v/>

---

I LOVE・・・

2011年10月8日23時34分発行